

平成28年度

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

小規模多機能ホームおあしす南谷山  
鹿児島市小松原2丁目23番30号

電話 099-267-6611

FAX 099-267-7311

メールアドレス [minamitaniyama@medicorp.co.jp](mailto:minamitaniyama@medicorp.co.jp)

平成29年3月28日

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（事―①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 21 日 (20 : 00～21 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 坂下、岩重、天野、上園、成松、藤後、川崎、松元、板井、鳥越、岩川、古賀、相良、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	10 人	3 人	1 人	14 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・ホームでの生活状況を連絡帳でお伝えするが、受け取るご家族が読みたくなるような本人の姿が見える記入法について勉強会を行う。</li><li>・カンファレンスに出席する際、ただ参加するのではなく、積極的に意見を言えるような環境作りを行う。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"><li>・勉強会はできなかったが、連絡帳の内容についてはカンファレンス等で共有できた内容を記載するなど、工夫することが出来た。</li><li>・席順を変更することで、誰でも意見を出せる環境整備は行ったが、十分とは言えなかった。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	10	2	1	15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	12	1	1	15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	10	3	0	15
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	9	4	1	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・利用前にミーティングやカンファレンス等で事前情報等について情報提供を行っている。</li><li>・利用開始から間もないうちは、特に声掛けを密に行うなどの対応をしている。</li><li>・日々のケアでしっかり利用者を観察し、変化や状態についてご家族と話し、情報共有できている。</li></ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・情報伝達は出来ているが、スタッフの理解が不十分なところがある。</li><li>・その日の業務の流れによって利用者と上手く関わることができず、必要最低限の支援となっていることがある。</li><li>・職員によっては送迎に出る機会が少なく、介護者と話す時間が短くなっている。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・スタッフ間での情報共有の仕方について、5W1Hをきちんと整理して記載するように徹底するなどの見直しを行う。</li><li>・業務分担について再考し、リーダーやキッチン業務のスタッフが送迎や訪問に出る回数を増やす。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 21 日 (20 : 00~21 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 坂下、岩重、天野、上園、成松、藤後、川崎、松元、板井、鳥越、岩川、古賀、相良、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	5 人	6 人	2 人	13 人

前回の改善計画

- ・ 日常の業務の中でスタッフ間の連携を密にし、利用者一人ひとりと関わる時間を今までよりも増やす。
- ・ ライフサポートプランへの変更を通じて、本人の出来ることの把握やスタッフのかかわり方について見直しを行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・ 担当利用者に対しては意識的に取組みを行っているが、担当外の利用者に対する取組みが十分にできなかった。
- ・ ライフサポートプランへの変更で、今までよりも利用者の出来ることについて意識するようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	4	8	2	15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	7	5	2	15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	6	6	2	15
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	7	4	4	15

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ ライフサポートプランへ移行し、プランと現場の記録が一体となった為、情報の把握が以前より出来るようになった。
- ・ 必要に応じて、ミーティング・カンファレンスで発言している。
- ・ 担当している利用者についてはカンファレンスで話し合いを行っている。
- ・ 集中的に関わりを増やすことが出来た利用者については、次のステップに進むことが出来た。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ 日常業務に追われ、本人の「～したい」という気持ちに答えられないことが多い。
- ・ 利用者一人ひとりと向き合う時間を取ることが難しく、担当している利用者のことについては理解しているが、全員分については把握が出来ていない。
- ・ 声を出せる利用者は良いが、声に出されない方の『～したい』と思った関わりが出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・ 日常業務の見直しを行い、すきま時間を上手に利用できるよう工夫を行う。
- ・ 担当外の利用者についても、情報を得るように努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 21 日 (20 : 00～21 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 坂下、岩重、天野、上園、成松、藤後、川崎、松元、板井、鳥越、岩川、古賀、相良、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	6 人	5 人	2 人	13 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>入浴回数や時間など、少しでも希望に近づけるよう、本人や家族に希望を聴く機会を増やす</li> <li>日常業務に追われていることが多く、どうしてもスタッフ側の想いが優先されがちなので、ゆっくりと利用者の話を聴く時間を設ける。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>入浴回数や時間について調整を行う事で、希望に沿うことができるようになった。</li> <li>スタッフ間の連携を強化するように取り組んだが、やはり業務におわれることが多く、ゆっくりと利用者のお話を聞く時間を設けることが難しかった。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	1	11	3	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	12	2	0	15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	6	6	2	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	11	2	1	15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	11	2	1	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>本人の出来ることを理解し、出来ないことや本人に必要なことの支援が出来ている。</li> <li>本人の気持ちに沿った対応を心がけ、なるべく変化に気付けるように心がけている</li> <li>日々の気付き、体調、気持ちの変化等については記録に落とし込み情報の共有が出来ている。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>介護支援専門員としてのアセスメント力不足を感じる。</li> <li>本人の気持ちよりも介護者の気持ち(都合)が優先されている場合があると思う。</li> <li>以前の暮らし方についての情報の把握についてまだ充分であるとは言えない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>相談技術について、研修参加などの機会を設けてレベルアップを図る。</li> <li>以前の暮らしぶりなどの情報について、担当者会議や送迎時など聞き取る機会を増やす。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 21 日 (20 : 00 ~ 21 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 坂下、岩重、天野、上園、成松、藤後、川崎、松元、板井、鳥越、岩川、古賀、相良、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	6 人	3 人	2 人	13 人

前回の改善計画

- ・送迎時や連絡帳を利用して、ご家族や本人からホームを利用していないときの過ごし方について聞き取りを行い、カンファレンス等で全職員が共有できるようにする。
- ・送迎や訪問の際、近隣の方にお会いした場合きちんと挨拶を行い、本人やご家族より関係性を伺うなど地域とのつながりを把握する取り組みを行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・送迎時は、当日の予定や体調などの生活状況の報告を行っていることが多く、利用日以外の過ごし方まで聞くことができなかった。
- ・送迎の際には、近隣住民の方と挨拶を行い、『お疲れさま』などの声を掛けていただけるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	9	5	1	15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	5	9	1	15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	2	11	2	15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	0	12	3	15

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・本人の生活について理解できている範囲はあまり広くはないが、本人や家族の方と話す中で知ろうとする努力はしている。
- ・送迎や訪問を行う際、ご家族や近隣住民の方への挨拶は出来ている。
- ・独居の利用者宅周辺の住民の方とお話をし、その利用者の暮らしぶりを少し知ることが出来た。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・自宅と事業所の行き来が支援のメインとなる為、なかなか地域との関わりが出来ていない。
- ・町内会や民生委員など地域の資源についての把握が進んでいない。
- ・地域との関係についての支援が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・独居の方など、ホームの支援だけでは在宅生活が難しく、地域住民の協力や社会資源が必要になる利用者について、訪問や送迎の際に周辺住民の方々に聞き取りを行ったり、社会資源について調査する。
- ・利用者が住む地域における社会資源について聞き取りを進め、少しでも活用できるように取り組みを行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 21 日 (20 : 00～21 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 坂下、岩重、天野、上園、成松、藤後、川崎、松元、板井、鳥越、岩川、古賀、相良、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	4 人	6 人	3 人	13 人

前回の改善計画

- ・連絡帳でのご家族とのやり取りを工夫(記載内容の個別化、ご家族との意見交換)し、即時的な対応をより充実させる。
- ・社会資源についての勉強会を行い、地域にある利用可能な社会資源について把握を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・連絡帳への記載内容については、ご家族から体重の定期的な記載や宿泊日の調整など、必要に応じて記載することができている。
- ・社会資源については、勉強会が開催できず把握が進んでいない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	0	11	4	15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	7	4	1	15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	0	12	2	1	15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	0	11	2	2	15

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・日々の申し送りやカンファレンスの中で本人の変化や情報をスタッフが共有できている。
- ・本人・ご家族のニーズに合わせ「通い」「訪問」「宿泊」のサービスを柔軟に提供することが出来ている。
- ・その日の利用者の状態に合わせ、散歩やドライブなどレクリエーションを工夫している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域資源の把握が出来ていない為、利用することが出来ていない。
- ・社会資源についての勉強会が開催できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・地域の社会資源についての把握が進んでいないので、職員会議等で社会資源についての勉強会を開催し、少しずつでも社会資源について学ぶ場を設け、把握や利用につなげる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 21 日 (20 : 00～21 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 坂下、岩重、天野、上園、成松、藤後、川崎、松元、板井、鳥越、岩川、古賀、相良、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	2 人	6 人	5 人	13 人

前回の改善計画

- ・勤務調整を行うなどして、交代で一般職員も運営推進会議にできるだけ出席を行う。
- ・研修会や地域行事など、利用者や職員も参加できるように、勤務や利用日の調整を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・消防訓練などとあわせて開催する時に委員と顔を合わせる程度の出席はできたが、通常の会議への参加は入浴や送迎など他の業務に追われていたためできなかった。
- ・地域行事(清掃活動)には参加することができた。研修会については一部の職員にとどまった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	0	4	9	15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	1	2	11	15
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	1	4	9	15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	2	4	9	15

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・町内会活動(公園清掃、消防訓練)にホーム職員が参加している。
- ・地域の方(民生委員、近隣住民)が事業所を訪れてくれることがある。
- ・行政主催の研修会や包括支援センター主催の多職種連携会議に出席している。
- ・地域住民を対象とした介護保険についての勉強会を開催・参加することが出来た。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・会議出席については、出席する職員(管理者・計画作成担当者等)に限られている。
- ・運営推進会議は管理者が出席しており、消防訓練での顔合わせ程度の参加は行ったが、ホームの業務の関係上一般職員の参加が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・地域にある介護事業所として認識を深めてもらう為にも、地域住民へ向けた勉強会については年に 1 回程度開催するように町内会へ提案する。
- ・事業所周辺の清掃活動を通じて地域の方との挨拶などの交流が持てるように取組みを検討する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 21 日 (20 : 00～21 : 00)

7. 運営

メンバー 坂下、岩重、天野、上園、成松、藤後、川崎、松元、板井、鳥越、岩川、古賀、相良、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	0人	4人	7人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・必要に応じて勤務調整を受け、職場外の研修への参加機会を増やす。</li><li>・事業所近くの施設(保育園など)との交流が図れるように働きかけを行う。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・外部研修については、研修案内を行い、少しずつではあるが参加できている。</li><li>・事業所近くの施設への働きかけが出来なかった。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	5	3	6	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	7	4	4	15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	4	3	8	15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	0	6	8	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者家族や地域の方から寄せられる「意見」「要望」「苦情」については、管理者を中心として話し合いを行い、素早く丁寧に対応出来ている。</li><li>・事業所スタッフとして気がついたことについては意見を言っている。</li><li>・地域の方々へのあいさつ、送迎時のご家族へのコミュニケーションは行えている。</li><li>・町内会のふれあい会食内で、介護保険に関する勉強会を実施することが出来た。</li></ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域での取り組みが弱く、散歩の際の挨拶や公園清掃活動など決まった物が多く、それ以外に積極的に行っているとは言いがたい。</li><li>・事業所近くの施設(保育園)との連携を図ることが出来なかった。</li><li>・業務調整については、上手く出来ないことも多く外部研修に職員をあまり参加させられなかった。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・勉強会の定期開催や、事業所周辺の清掃活動などを通じて地域の方に認知していただき、ホームとして関わられることを増やしていく。</li><li>・引き続き、周辺事業所との交流を模索していく。</li></ul>	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 21 日 (20 : 00～21 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 坂下、岩重、天野、上園、成松、藤後、川崎、松元、板井、鳥越、岩川、古賀、相良、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	5 人	5 人	3 人	13 人

前回の改善計画

- ・ひやりはっと報告書の書式が新しく整備されたので、記入後、全職員での情報共有を行う。
- ・市の連絡会主催の研修会に勤務調整をするなどして参加する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・新しいひやりはっと報告書について情報共有を行い、導入することができた。
- ・市の連絡会主催の研修会への参加している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	5	4	3	3	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	2	6	6	15
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	4	11	15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	4	6	5	15

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・部内研修への参加がきちんと出来ている。
- ・部外研修に参加したスタッフから報告をもらうことが出来ている。
- ・資格取得 (実践者研修・計画作成担当者研修) やスキルアップのための研修に参加できている。
- ・事故報告書の報告を受け、再発防止に取り組むことが出来ている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域連絡会の研修への参加が日程や会場等の関係でなかなか出来ない。
- ・リスクマネジメントへの意識がまだ高いとは言えず、ひやりはっとでの情報共有は出来ているが、内容についての把握が甘く、対応は事故が起きてから後手になってしまっていることが多い。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・職場外の研修について、市の連絡会が実施する物だけでなく、介護福祉士会の研修など案内を受けたものについては積極的に参加するようにする。
- ・リスクマネジメントについて、ひやりはっと報告書をもう少し活用できるように申し送り等で共有できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 21 日 (20 : 00 ~ 21 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 坂下、岩重、天野、上園、成松、藤後、川崎、松元、板井、鳥越、岩川、古賀、相良、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	5 人	3 人	3 人	11 人

前回の改善計画

- ・スタッフ間で、業務中、気持ちにゆとりが無いスタッフを見つけた場合、気持ちの切り替えが出来るように声掛けや業務の交代を行い、お互いに気持ちのリセットができるように働きかける。
- ・身体拘束や虐待を行わないという意識付けを行うために、ホーム内に身体拘束や虐待についての弊害を記載したポスター貼り出し、日々の業務の中で確認できるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・ゆとりのないスタッフに声かけを行うことができていない。
- ・身体拘束と虐待についてのポスターについてはコンプライアンスルールとして貼り出しを行ったが、事務所内だったため、職員全体が常日頃目に触れることが少なく認識が低かった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	11	4	0	0	15
②	虐待は行われていない	8	6	1	0	15
③	プライバシーが守られている	5	9	1	0	15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	0	3	10	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	8	1	0	15

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・虐待防止についての部内研修を随時行い、身体拘束や虐待の無い支援を行うように全職員が認識の共有ができています。
- ・会議内で身体拘束の弊害についてしっかり確認し、どうすれば廃止できるかを全スタッフで十分に議論し、問題意識を共有できている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・成年後見制度の学習会は行っているが、利用している方がいない為、職員の認識が低い。
- ・スピーチロックについては別の言葉への置き換えをするように取組みを行ったが、業務が忙しい時など表情に出してしまったたり、スピーチロックをしてしまうことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・スピーチロックについては、言葉を置き換えても表情や声の強さなどで出しまわっていることを認識した上で、職員間で継続して話し合いを行い、少しでも減らせるように取組みを行う。
- ・成年後見制度については、利用する方がいなくても勉強会を通じて理解が進むように取り組む。
- ・身体拘束・虐待防止についてのポスターは、玄関やホールなど職員の目に付く場所にも貼り出しを行い、常に意識できる環境整備を行う。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社メディコープ	代表者	中道 浩二	法人・事業所の特徴	利用者様に『もうひとつのわが家』と思っていただけるよう、利用者様を中心に家庭的な雰囲気の中、お一人おひとりに合わせた支援方法が提供できるよう、職員一同日々の取り組みを行っています。利用者様やご家族に24時間安心して過ごしていただけるよう、通いを中心としながら、訪問、宿泊のサービスを適宜組み合わせる事で、利用者様やご家族に安心していただいています。 日常的には、利用者様を中心としたケアを提供するため、送迎時や連絡帳でのご家族との情報交換を大切にし、些細な変化も見落とさないように配慮を行っています。
事業所名	小規模多機能ホーム おあしす南谷山	管理者	坂下 税		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	2人	0人	1人	1人	0人	1人	0人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での取り組みについてどうやって良いか分からないし、難しいと思う職員が多くいたのに対して、評価の中で『施設見学会』を開いてみてはどうかという助言を頂いたので、事業所見学会を企画し、年度内に実現に向けて取組みを行いたい。</li> <li>・身体拘束についての勉強会をより充実させる為に、研修会への参加や、事例検討会を開くことで、職員全体で同じ目標となるように取組みを行いたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方を招いての施設見学会を開くことは出来なかったが、地域へ出かけて行って認知症の勉強会を行うことができた。</li> <li>・身体拘束についての外部研修会への参加は出来たが、事例検討会を開催することは出来なかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『ほとんど出来ていない』と記入しているスタッフに対してのフォローが必要と感じた。</li> <li>・会議の進め方を工夫して、スタッフ誰でも意見が出せるように司会の方が工夫してみると良いのではないかと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフの入職時期や理解度に応じて自己評価を行う際、記載方法や自己評価の内容についての追加説明を行うなどのフォローを行うようにする。</li> <li>・事業所自己評価を行う際、一人ひとりのスタッフに発言してもらえるよう会議時間の配分に余裕を持つようにする。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価内に何の建物か分かりにくく、初めて来所される方にとって入りにくさがあるのではないかといった意見も出されていたので、なじみやすく、もっと入りやすい雰囲気になるように、玄関に花を飾るなどの取組みを行う。</li> <li>・現在行っている感染予防対策は継続して行い、感染予防に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関に花を飾る取り組みについては、通年で実施することが出来た。</li> <li>・感染予防対策についてはきちんと実施することが出来ており、継続して行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関に花を飾る取り組みについてはよく出来ていると感じたし、玄関周りに暖かい感じがしました。</li> <li>・鍵はされていないということは評価できるけれど、安全上の観点からなのか、中に入ってくると自由に外に出て行けない感じがします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外だけでなく、玄関内も過ごしやすく親しみやすい空間にするようにソファの配置や花を置くなどの環境整備を行う。</li> </ul>

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域版のホーム便りを運営推進会議の開催にあわせて準備を行い、確実な配布が出来るようにする。</li> <li>・事業所見学会の開催を計画し、地域の方にも気軽にホームを訪ねてきてもらえるように取組みを行う。</li> <li>・町内会主催の消防訓練への参加や、ホーム主催の消防訓練への相互参加が行えるように勤務調整や、運営推進会議の日程調整を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域版のホーム便りについては、運営推進会議の開催に間に合わないことが多く、確実な配布は出来なかった。</li> <li>・事業所見学会は開催できなかったが、地域のふれあい会食内でホームや認知症介護、介護保険についての学習会を行う事ができた。</li> <li>・ホーム主催の消防訓練は、運営推進会議と同時に実施し参加していただいているが、町内会主催の消防訓練には、都合がつかず参加できなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方の利用も増えてきており、地域におあしすがあるという認知が進んでいるのではないかと思います。</li> <li>・地域版のホーム便りについては、タイミングなどの面もあるでしょうが継続して取り組んでみてはどうでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中での認知を進めるため、ホームの見学会や、地域へ出向いての認知症の勉強会などの地域活動を計画する。</li> <li>・運営推進会議の準備と同時に地域版のホーム便りを準備し、回覧板での配布をお願いできるようにする。</li> </ul>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様の生活に合わせ必要な支援を行うことをこれからも心がけ、訪問や服薬管理など柔軟に対応する。</li> <li>・送迎や訪問など、利用者様が暮らしている地域の方とお会いする機会を大切に、関係作りに努めるようにする。</li> <li>・回覧板での案内を参考にしながら、利用者様と参加が可能な範囲で町内会行事への参加を計画したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎や訪問を通じて、柔軟な支援が出来ている。</li> <li>・送迎や訪問サービスを提供する際、利用者様の住んでおられる地域の方へ挨拶を継続しており、地域住民の方からも、お声を掛けていただく機会も増えてきている。</li> <li>・小松原地域での行事への参加は、時間や対象外であることもあったため参加出来なかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小松原地域の行事への参加については、回覧板を参考にして対象者であれば参加していただいてもいいと思います。</li> <li>・関係作りや利用者の暮らしを支える取組みとしては、訪問や送迎などで上手く言っているように感じます。</li> <li>・地域行事にこだわるのではなく、地域の祭りを見物に行くなど広く考えてみても良いのではないのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様の生活地域における支援や地域の方との関係作りについては継続して行う。</li> <li>・町内の行事については回覧板を参考に参加できるものを検討するし、地域の祭りなどへの参加など気軽に取り組めるものから始める。</li> </ul>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの運営推進会議内では、地域代表者の方からご意見を頂く場として項目を設けていたが、今後は、地域の介護問題や心配事についての情報交換や相談を行う場として項目を設け、必要に応じて地域代表者の方と連携して支援に繋がるように取組みを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、運営推進会議内で地域の困りごとや介護問題について伺う項目を設け、支援にまで繋がったケースはなかったが、お話しをすることを通じて地域についての理解を進めることが出来た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おあしすだけでなく、地域での取組みをどうするかがこの施設でも難しいようですね。</li> <li>・地域の困りごとはどうしたら良いかわからない場合が多いから、まずは行政に相談することが多いですよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、運営推進会議内で地域の困りごとについてお話を伺う取組みを継続する。</li> </ul>

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>・地域の防災に関して、一緒に取り組ませていただく</p>	<p>・地域の消防訓練への参加を計画していたが、日程の調整が付かず参加できていない。</p>	<p>・ホームの消防訓練は、運営推進会議と一緒に開催されるので参加できています。 ・風水害についての避難訓練はしていないけれど、昔はこの地区は全部浸かったことがあるから気をつけないといけないですね。</p>	<p>・日程調整をして地域の消防訓練へ参加する。</p>
----------------------------	---------------------------------	--	---	------------------------------

